

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	理学療法士学科	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	物理療法学	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	夜間部2年	学期	後期	教室名	902教室・機能訓練室
担 当 教 員	川原田 進				
実務経験と その関連資格	鍼灸師・トレーナーとしてクリニックで勤務(8年)。その後、理学療法士として晴風園今井病院に勤務し、医療・療養型病棟(1年)、回復期リハビリテーション病棟(6年)に従事する。整形外科疾患や脳血管疾患を中心に数多くの症例のリハビリテーションを経験した。3学会呼吸療法認定士・福祉住環境コーディネーター2級所持。 また大学院では運動生理学教室に所属し運動パフォーマンスと疲労について研究を進め学会でも発表している。健康学修士。				
《授業科目における学習内容》					
物理療法の総論、各論について理解し、疾患に適した物理療法を考えることが出来る。物理療法を実際に使用し、適応・禁忌について理解できる。					
《成績評価の方法と基準》					
定期試験(80%)、小テスト(10%)、レポート(10%)					
《使用教材(教科書)及び参考図書》					
配布資料:レジュメを毎回配布します。					
《授業外における学習方法》					
配布した資料を積極的に復習しましょう。					
《履修に当たっての留意点》					
臨床現場では物理療法を用いて治療することが多く、適応や禁忌を学び、適切な治療を行えるようになりましょう。					
授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	物理療法の定義が説明できる。	教科書 配布資料	物理療法の種類を確認しておく。	
	各コマにおける授業予定	物理療法学総論			
第2回	授業を通じての到達目標	温熱療法と寒冷療法の効果の違いが説明できる。	教科書 配布資料	教科書のホットパックの項目を読んでおく。	
	各コマにおける授業予定	温熱療法と寒冷療法の効果の総論(効果・機序)			
第3回	授業を通じての到達目標	ホットパック・パラフィン浴の適応・禁忌・操作方法が説明できる。	教科書 配布資料	教科書のホットパックの項目を読んでおく。	
	各コマにおける授業予定	物理療法学各論(温熱療法概論・ホットパック・パラフィン浴)			
第4回	授業を通じての到達目標	超短波・極超短波の適応・禁忌・操作方法が説明できる。	教科書 配布資料	教科書の超短波・極超短波の項目を読んでおく。	
	各コマにおける授業予定	物理療法学各論(超短波・極超短波)			
第5回	授業を通じての到達目標	超音波・極超短波の準備・設定・操作が行える。	教科書 配布資料	超音波の配布資料を読んでおく。	
	各コマにおける授業予定	物理療法学各論(超音波・実技説明)			

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	授業を通じての到達目標	温熱療法 復習	教科書 第1回～第4回までの配布資料	第1回～第4回までの配布資料を再復習しておいてください。
	各コマにおける授業予定	第1回から第4回で学んだ温熱療法を再度復習します		
第7回	授業を通じての到達目標	寒冷療法の効果、アイスパックやアイスマッサージの準備・操作ができる。適応や禁忌が説明できる。	教科書 配布資料	教科書の寒冷療法の項目を読んでおく。
	各コマにおける授業予定	物理療法学各論(寒冷療法概論・アイスパック・アイスマッサージ)		
第8回	授業を通じての到達目標	寒冷療法の効果、アイスパックやアイスマッサージの準備・操作ができる。適応や禁忌が説明できる。	教科書 配布資料	教科書の寒冷療法の項目を読んでおく。
	各コマにおける授業予定	物理療法学各論(寒冷療法概論・アイスパック・アイスマッサージ)		
第9回	授業を通じての到達目標	牽引療法の効果が説明できる。適応・禁忌が説明できる。	教科書 配布資料	教科書の牽引療法の項目を読んでおく。
	各コマにおける授業予定	牽引療法(牽引療法概論・頸椎・腰椎牽引療法)		
第10回	授業を通じての到達目標	電気刺激療法の効果が説明できる。適応・禁忌が説明できる。	教科書 配布資料	教科書の電気刺激療法の項目を読んでおく。
	各コマにおける授業予定	電気刺激療法(電気刺激療法概論・治療的電気刺激法)		
第11回	授業を通じての到達目標	水治療法の効果、水治療法概論・過流浴・気泡浴の適応や禁忌が説明できる。	教科書 配布資料	教科書の水治療法の項目を読んでおく。
	各コマにおける授業予定	物理療法学各論(水治療法概論・過流浴・気泡浴・ハバードタンク)		
第12回	授業を通じての到達目標	寒冷療法・牽引療法・電気刺激療法 復習	教科書 第7回～第10回までの配布資料	第7回～第10回までの配布資料を再復習しておいてください。
	各コマにおける授業予定	第7回から第10回で学んだ物理療法を再復習します。		
第13回	授業を通じての到達目標	模擬症例に対する、物理療法の選定に対する発表準備。	授業資料 パワーポイント	第1回から第9回の授業資料を復習しておく。
	各コマにおける授業予定	班に分かれて、配布された模擬症例の資料をもとに、物理療法の選定や方法を検討する。		
第14回	授業を通じての到達目標	症例に適した物理療法を選定し、各種物理療法が実施できる。	授業資料 パワーポイント	第1回から第9回の授業資料を復習しておく。
	各コマにおける授業予定	前回到提示された症例に対して、的確な物理療法を選定し発表する。		
第15回	授業を通じての到達目標	症例に適した物理療法を選定し、各種物理療法が実施できる。	授業資料 パワーポイント	第1回から第9回の授業資料を復習しておく。
	各コマにおける授業予定	前回到提示された症例に対して、的確な物理療法を選定し発表する。		